♪さんかく楽集会(がくしゅうかい)♪

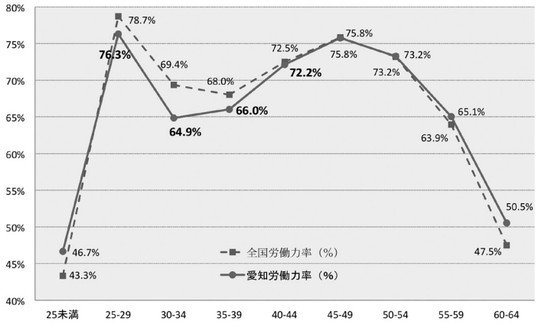
～「女性が元気に働き続けられるあいち」をめざして～

愛知県初の女性副知事である吉本明子氏を講師としてお迎えし、
「女性が元気に働き続けられるあいちをめざして」をテーマにご講演いただきました！

日　　時：平成26年6月28日（土）13：30～
場　　所：安城市民交流センター　多目的ホール
参加人数：103名

講演内容の紹介

【女性の年齢階級別労働力率】※1



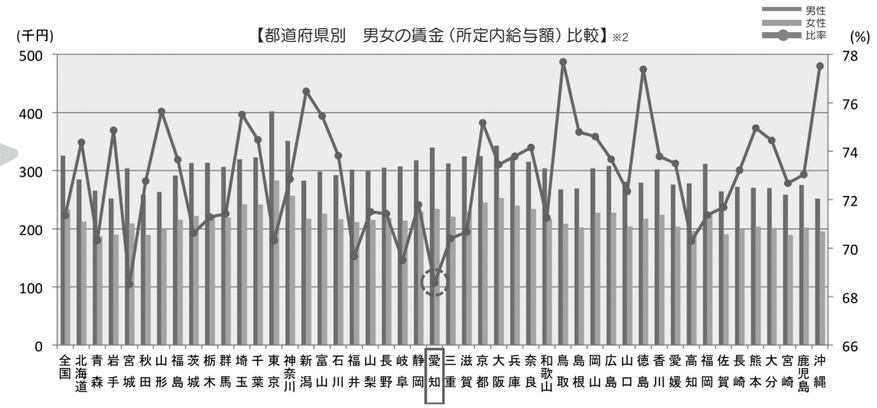
※1 労働力率：「15歳以上人口」に占める「労働力人口」の割合

女性の労働力率は、結婚・出産期に当たる年代に一旦低下し、育児が落ち着いた時期に再び上昇するという、いわゆるM字カーブとなっています。

30～34歳の労働力率の差が一番大きく、全国が69.4%に対して、愛知県は64.9%となっており、M字カーブの谷が特に深い事が読み取れます。

男女の所定内給与額を比較してみると、愛知県は2番目に男女の賃金差が大きい事が分かります！

【都道府県別　男女の賃金（所定内給与額）比較】※2



※2 所定内給与額：
定期給与のうち時間外手当や休日出勤手当、深夜手当等の超過労働給与以外のもの

愛知県の取り組み

「女性のキャリア形成・職域拡大の支援」
◆女性管理職養成セミナー
◆働く女性のネットワーク構築
◆女性農業者の活躍支援
◆男性管理職向けワークショップ

「女性の再就職及び起業の支援」
◆あいち子育て女性再就職サポートセンター
◆女性企業家セミナーの開催及びネットワークの醸成

「ワーク・ライフ・バランスの推進」※3
◆愛知県内一斉ノー残業デー
◆ファミリー・フレンドリー企業登録制度
◆あいちのイクメン応援事業

※3 ワーク・ライフ・バランス：
老若男女誰もが、仕事、家庭生活、地域生活、個人の自己啓発など、さまざまな活動について、自ら希望するバランスで展開できる状態のこと

グループワーク

講演後、「女性が元気に働き続けられるためには」をテーマに7グループに分かれてグループワークを行いました。参加者みんなで考えた意見の一部をご紹介します！

家庭・地域環境
・ワーク・ライフ・バランス
・協力意識（夫婦、祖父母・近隣）
・役割分担を決める
・女性だけで引き受けない
・家族全員で協力しあう　等

職場環境
・男性も女性も意識を変える必要あり（教育等）
・男性も女性も育児休暇等取れやすいように
・能力のある女性が役員になれるように
・雇用制度の見直し
・残業がないようにする
・復職につながる支援　等

社会環境
・子育て制度　・教育制度
・介護制度　・国の方針等
・子育て制度の充実
・男女共同参画をもっと学ぶ
・女性のエンパワーメント※4向上　等

心身の健康
・自分、家族の健康管理
・健康な心と体を作るための生活を維持
・健康診断を積極的に活用する　等

※4 自らが本来持っている力を引き出し、意識と能力を高め、職場・家庭・地域など社会のあらゆる分野で、意思決定に十分にかかわることができる力をつけること。

講演、グループワークを終えて

グループワークの結果を見て、国の制度の問題解決はもちろんですが、やはり家族や職場での意識改革がかなり重要であることが分かりました。女性だけが必死で頑張っても働き続けることは難しいため、ワーク・ライフ・バランスを実現させることが必要です。男性女性問わず人間らしく生きることが当たり前になるように、男性の働き方も含めて、もう一度みんなで考えてみてはどうでしょうか。

さんかくニュース

安城市消費生活学校 ベスト消費者サポーター賞受賞！

当会は、昭和49年の設立以来暮らしと環境を見つめ地道に活動を継続してきたことが認められ、消費者庁から団体表彰をされました。私たちの活動の柱は、
①廃食油を使っての石けん作り　②風呂敷の活用
③段ボールコンポストによる生ごみ減量 です。
特に風呂敷の活用は伝承文化としての包み方から防災活動まで、幅広い利用方法があります。
「百聞は一見にしかず」です。ぜひ、お試しください。